

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

C-step3, H-step3, K-step3

つきたい力：社会の様子を調べることを通して、国の政治についての理解を深める。

学習の流れ

問題発見：三人の候補者の意見を読み、だれを支持するのかを決める。
情報収集：支持する人の意見がどのような社会の実現に必要なのかを確かめる。（教科書・インターネット）
整理分析：社会的な状況から支持する理由を考える。（深める）
表現発信：支持する理由を他者と伝え合い、投票する人を決める。

指導の流れ

学習の流れを示し、本時の最後には、自分なりの意見や
思いを持って三人のうちの誰かに投票することを知る。

学習コンテンツの活用

・Googleスライド

→集めた情報をまとめるためのツールとして利用。

・ロイロノート（共有ノート）

→①集めた情報をメモとして残し、学習の過程を共有するために利用。（座席表と同じように配置）

・Google スプレッドシート

→共有状態でのふりかえり、即時評価を行う。



日本の政治の問題点

- ・ 少子高齢化→待機児童
- ・ 経済の低迷
- ・ 自然災害
- ・ 環境問題

C候補者

- ・ 少子化が問題だから、子どもを増やせるような取り組みをしている
- ・ 保育園が増えたら子どもが増える？
- ・ 待機児童という問題がある→解決する
- ・ 大人も子どもを任せて安心して働ける

ロイロノート 会議録

他者参照の中で 質の向上を図る

スライド

児童が自分 で学習を進 めるための 関わり

Bを支持する

理由

①将来のために高校と大学は大事だから、授業料を無料にすればお金で困り、行きたかった高校、大学をあきらめてしまうことがなくなって、後悔することもないから。

②物価高の今、無料にしてくれることはありがたい。前の社会で、国民の義務にあった、「教育をうけさせる」というのが、授業料が高いと受けられないから。

③Aの人の意見だと、健康な高齢者の方は当てはまらないからよくないと思う。国民みんなが得できないと意味がない。

④Cの人の意見だと、保育園の数を増やしても安心して預けられないから、保育園の数は関係ないと思う。

児童が検索したワードを 板書に残していく。 →検索に困った児童が ヒントにする

ヒントカード

- ・ どの人の考えがよかったのかを1人決める。

- ・ その人の考え方のどこがよかったのかを書く。

- ・ 今の世の中には、なぜ誰か人の政策が必要なの？

教員の関わり

・ スライドを確認して、必要に応じて児童の支援をする。

①情報の集め方を伝える（具体的な検索ワードの指導）

②どの情報が必要なのかを一緒に考える

③調べる際のキーワードを伝える など

・ 児童の活動が止まった時用にヒントカードを用意する。

子どもの変容

・ 相手の意見に根拠を求め、話し合うことができた。

・ クリティカルリーディングの力が身についた。

☆相手の意見を参照しつつ、即時に調べることができる環境設定がポイント。

（意見の整合性を確認する、反論を考える）

実際に使用していた検索ワード

「日本の政治 課題」「少子高齢化」「税金 使い方」など

・ 複数の情報源を使って情報の整合性を高める。

・ 重要な部分だけを抜き出し、自分の考えも書き加える。